



運輸安全マネジメントに関する取組について

近江鉄道株式会社

当社は2026年1月1日に、これまで各事業で培ってきた安全対策の成果を土台に、全社一丸となって安全への意識を共有し、グループ全体で同じ目標に向かって取り組むことで、より強固な安全文化を築き上げていくべく、**近江鉄道グループ全社で共有する新たな安全方針を策定**しました。

この方針に沿って、「安全・安心」と「お客さま目線に立って」を基本に、輸送の安全を確保することを最大の使命とし、安全方針のもと、社長をはじめとした全ての役員・社員が一丸となって、輸送の安全性向上に取り組めます。

近江鉄道グループ安全方針

1. 常に、安全を最優先に、事業・サービスを推進します。
2. 常に、法令・規則をよく理解してこれを守り、誠実に職務に取り組めます。
3. 常に、事故・災害に備えるとともに、人命を最優先に自ら考え行動します。
4. 常に、安全管理体制をチェックし、その向上に努めます。

近江鉄道

Seidou Group

プロとして「安全・安心」を最優先

お客さまに
絶対の安全・安心をご提供しよう!

近江鉄道グループ安全方針

1. 常に、安全を最優先に、事業・サービスを推進します。
2. 常に、法令・規則をよく理解してこれを守り、誠実に職務に取り組めます。
3. 常に、事故・災害に備えるとともに、人命を最優先に自ら考え行動します。
4. 常に、安全管理体制をチェックし、その向上に努めます。

近江鉄道バス2026年度重点目標

プロとして「安全・安心」を最優先

行動目標

・安全確認の徹底で未然事故防止
・おもいやり運転で車内事故ゼロ
・交差点「待つ・譲る」で防衛運転

数値目標

1. 重大事故 2. 有責事故 3. 飲酒運転の撲滅

0件 22%減
77件/23件以下

0件 0件 50%減
4件以下

0件

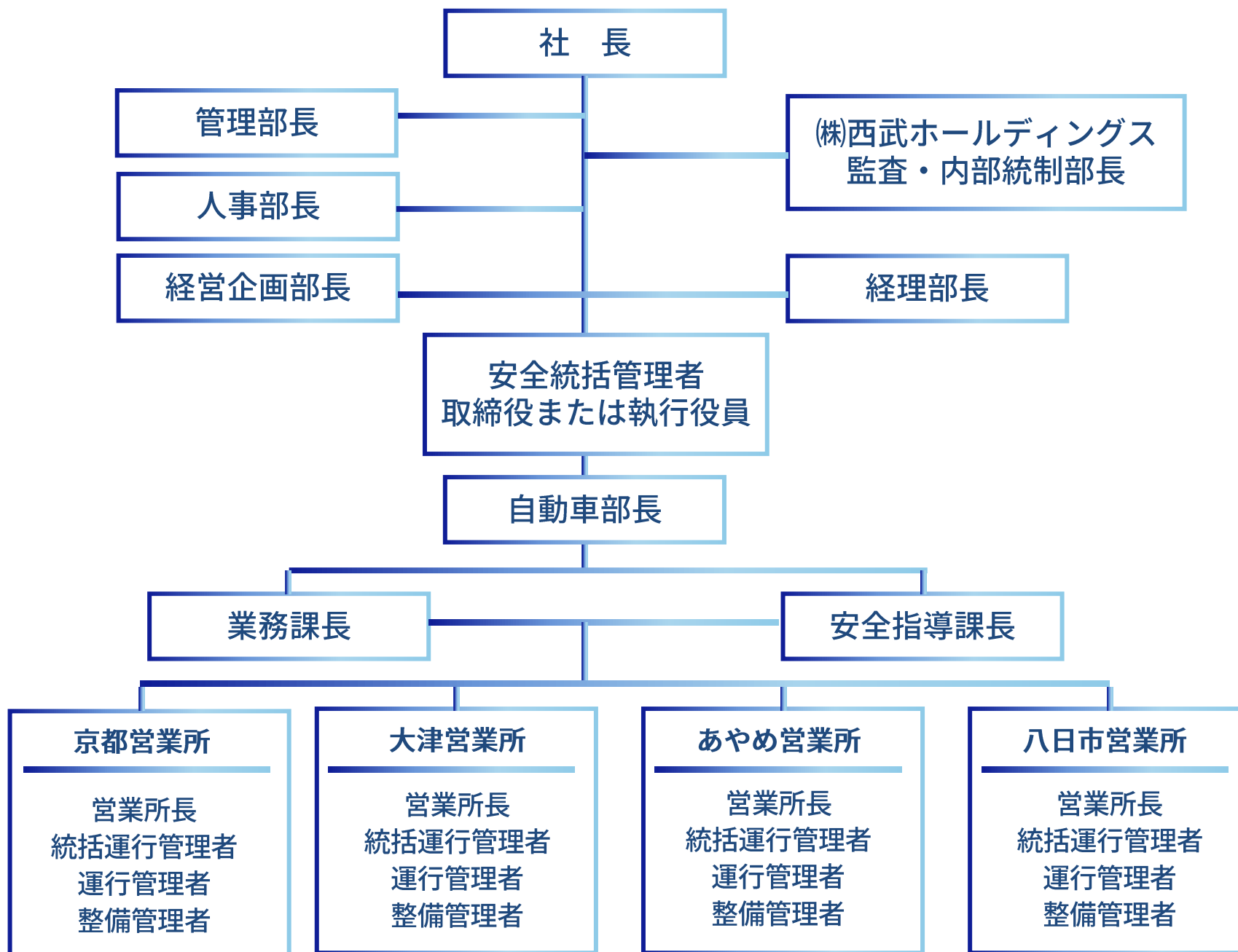
2 輸送の安全に関する目標及び発生状況（2025年度）

	目 標	発生状況
重大事故	0件	1件
有責事故	25件以下	35件
横断歩道、交差点の事故	0件	12件
車内事故	0件	4件
バック事故	4件以下	7件
自走事故	0件	0件
冬期 積雪・凍結時の事故	0件	0件
飲酒運転の撲滅	0件	0件

3 自動車事故報告規則第2条に規定する事故

	状 況
車外人身重症事故	0件
車内人身重症事故	1件
自動車が転落したもの	0件

4 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統



5 輸送の安全に関する重点施策

- 01 | 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- 02 | 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- 03 | 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- 04 | 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- 05 | 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施します。

6 外部との連携による輸送の安全に対する取り組み状況（2025年度）



滋賀県警察本部との 合同訓練

○滋賀県警察本部との合同訓練（バスジャック研修）

【実施目的】

昨今の社会状況を踏まえ、滋賀県警察本部刑事部捜査一課のご協力により、不審者発見時の初動対応力強化や、事件・事故など多様な緊急事態への共通対応の検証、情報伝達・広報体制の検証し、乗務員や運行管理者の危機意識向上を目指し、「お客さまの安全を最優先に、いかなる緊急事態でも的確・迅速に対応できる組織力と実務レベルを確立する」ことを訓練実施の大きな目的として訓練を実施しました。

【実施場所】 近江鉄道株式会社 大津営業所内

【実施日】 2026年2月16日（月）13:30～15:45

【参加者】 近江鉄道(株)各営業所の事務員1名、乗務員1名
湖国バス(株)各営業所の事務員1名、乗務員1名
滋賀県警捜査一課 7名

【事件想定】

- ①路線バス車内で刃物を持った不審者がおり、お客さまに危害を加えられる可能性がある状況
- ②路線バス車内で不審者が何らかの液体を車内に撒きちらし、人体に危険が生じる恐れがある状況

【訓練内容】

- ・運転手の初期対応訓練（不審者への対応・営業所等への連絡方法）
- ・運転手から連絡を受けた営業所運行管理者の対応（各所への連絡）
- ・警察到着までの対応と、警察への引継ぎ



滋賀県警による座学研修



実技研修（運行管理者役）



「緊急事態発生」を表示させ走行するバス



訓練総評

6 外部との連携による輸送の安全に対する取り組み状況（2025年度）



外部講師による研修

○外部講師による研修

【実施目的】

多角的な視点を養うため、社内研修の実施に加えて、自動車事故対策機構滋賀支所の職員様を外部講師としてお招きし、運行管理者・補助者向けの研修を行いました。

【外部講師】 自動車事故対策機構滋賀支所 支所長様

【実施場所】 近江鉄道株式会社 本社他

【実施日】 2026年2月25日、3月2日、4日、9日、11日 計5日開催

【参加者】 近江鉄道(株) 統括運行管理者、運行管理者、補助者、本社事務員
湖国バス(株) 統括運行管理者、運行管理者、補助者、本社事務員

【研修内容】

- ・ 掲示物の「あり方」について
- ・ 管理者の「気づく力」について考えてみよう



7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



所長会議（運行）

毎月1回、随時開催

安全統括管理者、営業所長、本社関係者等が出席する安全に関する基幹会議において、毎月の各営業所の運行管理指導結果及び運行管理計画等について、協議検討し、改善を図りました。※一部、Web開催



安全サービス 推進委員 （SS推進委員会）

3月・6月・9月・1月に開催

- ① 安全とサービスの向上を目的として各営業所のSS会長（乗務員代表）と現場管理者、安全統括管理者、本社関係者が出席する会議を年に4回開催し、四半期毎のSS推進活動にかかるPDCAサイクルの実施状況について、意見交換や情報共有をおこない、安全意識の高揚を図りました。



ヒヤリハット情報の 活用、危険予知訓練 （KYK）

- ① 各営業所のSSサークル活動において、ヒヤリハット情報を収集し、分析した傾向と対策を乗務員教育に活用しました。また、営業所全体で危険箇所の洗い出しをおこない、点呼時に注意喚起をおこなうとともに掲示板に掲示し事故の未然防止に努めました。
- ② 事故防止の取組みとして設置しているドライブレコーダー（常時録画型）の映像等を活用し、危険予知訓練に役立てました。

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



各種安全運動の 取組み

春・秋の全国交通安全運動や年末年始の輸送等に関する安全総点検等の各種安全運動の取組みとして、

- ① 社報及び通達等で各種取組みについて周知をおこない、各営業所のSS推進委員会とともに運動を展開しました。
- ② 各種安全運動期間中において、社長をはじめとした役員、安全統括管理者による巡視や本社関係者による査察を実施し所員に対する取組みへの講評をおこなうとともに、現場との意見交換を通じてコミュニケーションの活性化を図りました。



グリーン経営の 推進

2007(平成19)年11月20日、『グリーン経営認証』を取得。「環境方針」に基づき、活動推進体制を整備し、「エコドライブ7ヶ条」をはじめとして、環境保全の取り組みを推進しました。



飲酒運転防止の 推進

- ① 始業及び終業の点呼時には、酒気帯びの有無の確認をアルコール検知器を用いて確実におこない、社内基準値を超えたデータは、本社部門及び営業所長の携帯電話にも転送し、厳正に対応しました。
- ① 労組支部役員、指導乗務員及びSSリーダー等の立会点呼において、飲酒運転撲滅に向けた注意喚起をおこないました。また、安全統括管理者及び本社管理職員の巡視や査察の際には、点呼に立会い、安全意識の浸透を図りました。

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



健康管理の推進

- ① 年2回（春と秋）の定期健康診断を乗務員に必ず受診させ、診断結果に基づいて産業医、保健師による健康管理指導をおこないました。要医師指導者に対しては医師の診察を受けるよう指導し、受診後は運行管理者による面談を実施するなどして、乗務員の健康状態を把握しました。また、秋の定期健康診断時には、65歳以上を対象に血液BNP検査を実施しました。
- ② 乗務前点呼においては、乗務員の体調確認をおこない、また、乗務中に体調の異常を感じた場合には、無理に運転を継続せずに運行管理者等へ報告するよう指導し、運転者の健康に起因する事故の未然防止に努めました。
- ③ 2019年度より、全乗務員を対象とした睡眠時無呼吸症候群（S A S）の簡易検査を医療機関に依頼し、その結果により産業医面談および医療機関での受診を徹底しています。S A Sに起因する様々な健康障害や、健康起因事故防止のため、毎年実施し適切な健康管理の指導に努めました。
- ④ 運行中乗務員の脳血管障害による健康起因事故の防止、および健康管理の観点から、満34歳、39歳、44歳、49歳、54歳、59歳、64歳、69歳、70歳、71歳のバス運転手に脳ドックの受診を実施しました。



適性診断受診結果の活用

- ① 自動車事故対策機構の「ナスバネット（インターネット適性診断システム）」を利用し、3年に1回の受診を計画的に実施しました。なお、60歳以上の乗務員には毎年の受診を義務付けて（65歳以上は適齢診断）、高齢運転者の事故防止に努めました。
- ② 適性診断の結果を受けて、運行管理者による個人指導をおこなうとともに、自分自身の弱点を記載した適性診断カード等の活用により事故の再発・未然防止に努めました。

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



車両整備管理者会議 の開催

毎月1回、随時開催

営業所整備管理者、整備工場長、本社関係者等が出席する車両整備会議（Web開催）において、日常点検及び定期点検整備の実施状況、リコール対象車両の改善措置及び安全確保に関する対策の実施状況等について意見交換をおこない、車両の安全性向上を図りました。



乗務員への教育・ 研修

年間を通じて各種教育・研修、指導をおこないました。

- 全乗務員対象事故防止研修（ドライブレコーダー活用）
- 新入乗務員基礎教育研修
- 事故惹起者個人研修
- 事故多発者研修（外部講師）
- 高齢運転者（65歳以上）講習
- 初任運転者講習
- バスジャック研修
- タコグラフチェック個人指導
- 第10回安全運転技能競技会
- 若年乗務員研修
- 貸切バス初任運転者（大型）研修
- 冬期雪上研修（路線・貸切）



事故多発者研修の様子



第10回安全運転技能競技会の様子



若年運転手研修の様子

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



乗務員への 教育・研修

○貸切バス初任運転者（大型）研修 ※運転手7名に実施

【本社研修】

- ・座学 1日（7時間）
- ・実技 ○1日目（指導運転手1名：指導歴 15年）
 - ・日常点検、中間点検、非常時の取扱い、車両特性
 - ・基本運転：一般道路・山間道路（国道307号、国道1号、鈴鹿峠方面）※山間道路の走行方法、シフトダウン・アップ、エンジンブレーキ、排気ブレーキ、リターダー等の訓練
- 2日目（指導運転手1名：指導歴 15年）
 - ・基本運転：高速道路（長野方面、名神高速道路、中央自動車道路）※安定走行、中間点検、PA、観光地での駐車方法等

【営業所研修】

- ・実技：一般道路、市街地、観光地、高速道路、特約運行コース等
 - ・座学：ドラレコ研修等実施（合計3時間以上）
- ※本社及び営業所実技研修にて、ハンドル時間20時間以上実施
本社及び営業所座学研修にて、座学10時間以上実施
その後、指導運転手添乗による実車運行を3乗務実施
- | | | |
|----------|---------|------------------|
| （八日市営業所） | 指導運転手3名 | （指導歴：15年、14年、2年） |
| （あやめ営業所） | 指導運転手1名 | （指導歴：13年） |
| （大津営業所） | 指導運転手4名 | （指導歴：15年3名、7年1名） |
| （京都営業所） | 指導運転手1名 | （指導歴：7年） |



車両点検、非常口の取扱いの様子



座学研修の様子



実技研修の様子

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



乗務員への 教育・研修

○雪上研修（貸切乗務員） ※貸切運転手14名に実施

【実施目的】

雪上・凍結時における発車・走行・停車の方法を実技訓練でいかに安全運転が出来るか体感をする。また、チェーン着脱訓練にて正確なチェーン装着方法を身につける。

【実施場所】 焼額山スキー場駐車場及び県道471号線周辺道路

【実施日】 第1班 2025年12月22日（月）～12月23日（火）

第2班 2026年 1月13日（火）～ 1月14日（水）

【研修内容】

- ・座学 冬期異常気象時の安全運転について
- ・実技 雪上でのチェーン脱着訓練、雪上走行訓練

【参加者】

- ・大 津営業所 5名
- ・あやめ営業所 3名
- ・八日市営業所 6名



安全統括管理者の訓示



実技研修の様子（チェーン脱着訓練）



実技研修の様子（雪上走行訓練）

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



運行管理者(補助者) への教育・研修

年間を通じて各種教育・研修、指導を行いました。

- 事務員の乗務員研修参加による教育
 - 若年事務員研修
 - 運行管理者・補助者研修（外部講師）
 - 乗務員の健康管理に関する研修
 - 事故発生時の初期対応研修
 - 適性診断活用講座の受講 等
- ※一部、Web開催



運輸防災マネジメント の取り組み

2020年7月「運輸防災マネジメント指針」策定に伴い、自然災害等への対応を見直しBCP計画を策定。各営業所の路線ごとに浸水エリアを見直し、ハザードマップに追加、全乗務員・事務員に「見える化」を図り、意識向上に努めました。

また、緊急時に迅速かつ正確な情報伝達を行うべく、情報伝達訓練も実施しました。



巡視の様子



所長会議の様子

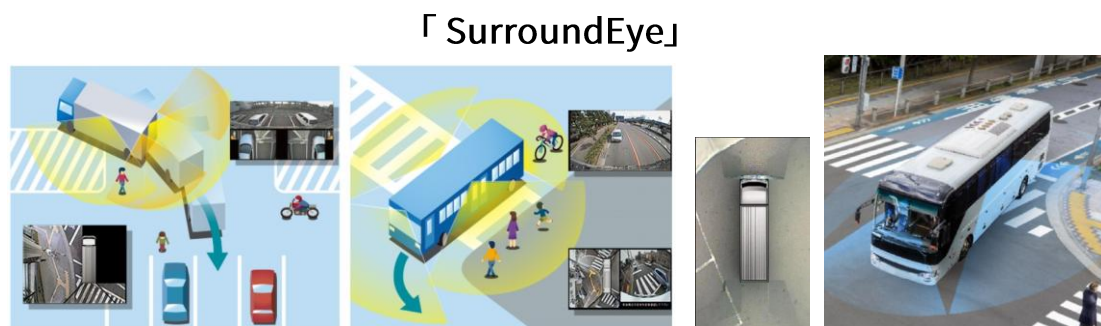


安全サービス推進委員会の様子

7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



車両安全装置の導入



◆「SurroundEye」（貸切）

（クラリオン株式会社 HPより抜粋 <https://archive.clarion.com/jp/ja/products-business/surroundeye/>）

複数のカメラを用いて俯瞰映像を作り出し、車両周辺の状況をひと目で把握することができる、業務車両に特化した安全運転支援システム「SurroundEye」を導入しました。

常に俯瞰映像で確認が出来、死角の低減に繋がります。

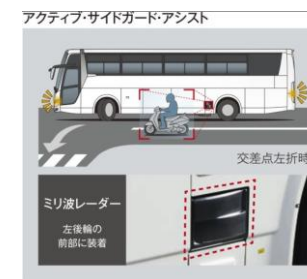
◆「アクティブ・サイドガード・アシスト」（貸切）

「サイドセンシングアイ」（乗合）

左折時の巻き込み事故を防止する「アクティブ・サイドガード・アシスト」を搭載した観光バス車両を導入、また、路線バスには「サイドセンシングアイ」を装備しました。

左側方の安全確認のための機能であり、歩行者や自転車・車両を検知すると接近を段階的にドライバーへ警告し、危険運転を防ぎます。

（日野自動車株式会社 HPより抜粋 [大型観光バス「エアロクィーン」・「エアロエース」新型モデルを発売 | 三菱ふそうトラック・バス株式会社](#)）



◆「バックソナー」（乗合）

車体に取り付けたセンサーで検知した信号をブザー音とインジケータでドライバーに障害物の接近を知らせることができる装置を導入しました。障害物への距離が短くなるにしたがって、早い断続音になり接近を知らせることができる補助装置です。



7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



車両安全装置の導入

・貸切バスのEDSS



赤色フラッシャーが点滅



客席スイッチ



客席スイッチはルームラックの最前列上部に2カ所設置



運転席スイッチ



ストップランプとハザードランプが点滅



スイッチ内蔵ランプが赤色に点滅

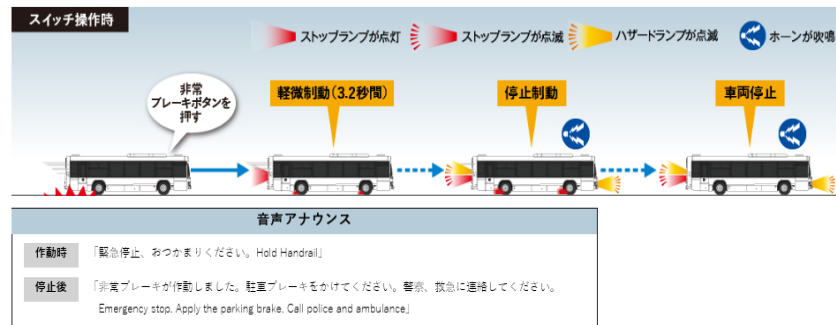
（日野自動車株式会社 HPより抜粋 <https://www.hino.co.jp/selega/safety/index.html>）

◆ドライバー異常時対応システム《EDSS》（貸切・乗合）

走行中、ドライバーに異常が発生した際、ドライバー自身が運転席に取り付けられた非常ブレーキスイッチを押すか、もしくはお客さまが客席側に設置されたスイッチを押すことで、車両が徐々に速度を落とし停止します。同時に車内では、ブザーが鳴るとともに、スイッチ内蔵ランプが点滅、赤色フラッシャーが点滅してお客さまに危険を伝達します。

さらに、周囲にはホーンを鳴らし、ストップランプとハザードランプを点滅させ異常を知らせます。

・乗合バスのEDSS



（いすゞ自動車株式会社 HPより抜粋 https://www.isuzu.co.jp/product/bus/erga_rt/safety_driving.html）

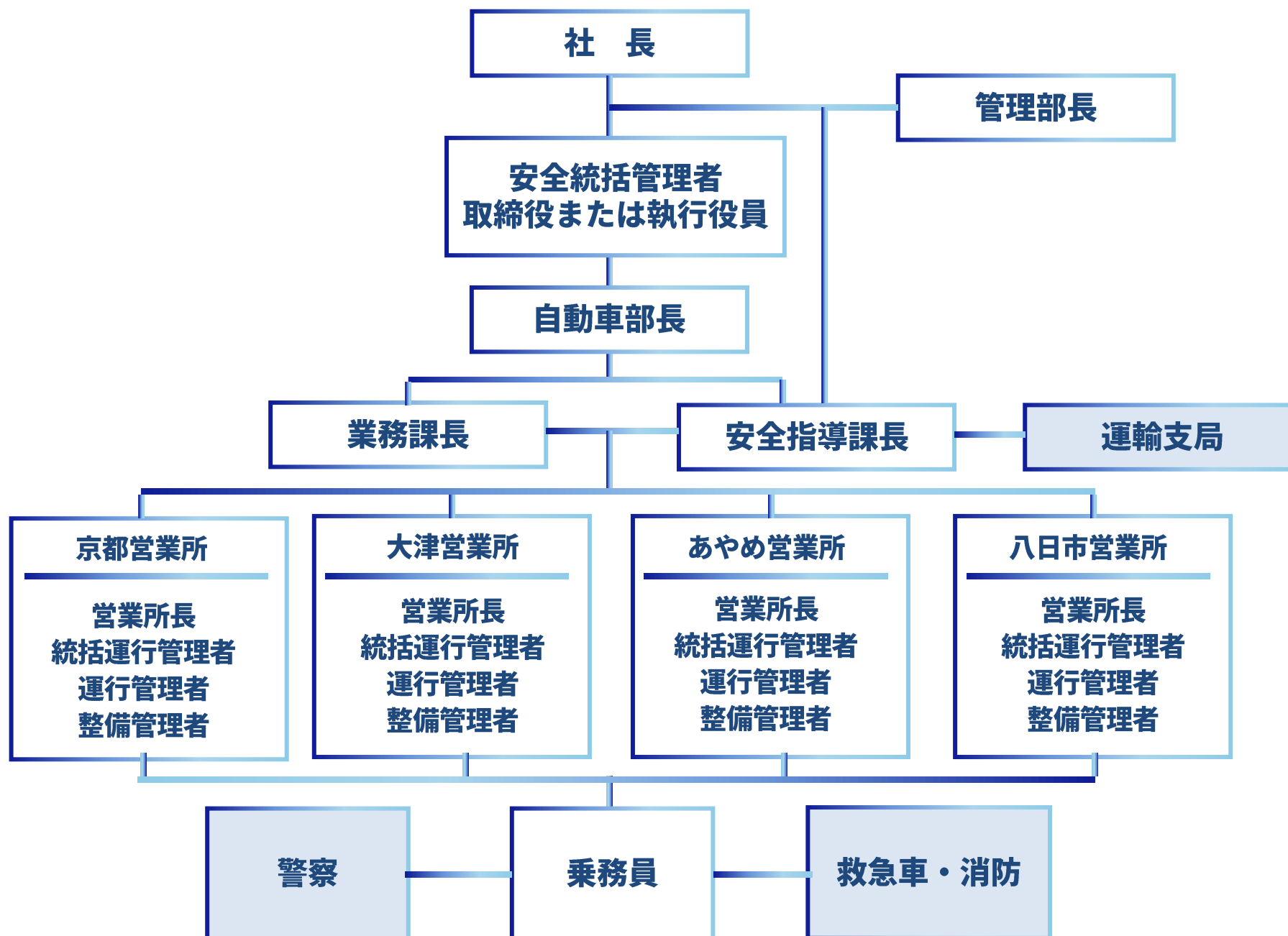
7 輸送の安全に関する取組み実績及び教育・研修の実施状況（2025年度）



車両安全装置の導入状況

	導入台数
◆「SurroundEye」（貸切）	19台
◆「アクティブ・サイドガード・アシスト」（貸切） 「サイドセンシングアイ」（乗合）	5台 7台
◆「バックソナー」（乗合）	33台
◆ドライバー異常時対応システム《EDSS》 （貸切） （乗合）	19台 23台

8 事故・災害等に関する報告連絡体制



9

実施項目：月別			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考	
会議	全体	近江鉄道グループ安全推進委員会（安統官）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月1回、随時	
		営業所長会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月1回、随時	
		安全サービス推進委員会			○			○					○		期毎	
		交番担当者会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月1回、随時	
		車両整備管理者会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月1回、随時	
	営業所	営業所所内会議・安全衛生委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	所内会議毎月2回以上・安全衛生委員会月1回
冬期輸送雪寒対策会議										○					冬期シーズン前（各土木事務所主催）	
研修・訓練・指導等	運転者（乗合・貸切共通）	S S サークル活動（小集団活動）	第1期			第2期			第3期			第4期			期別推進計画に基づき実施	
		新入運転者基礎教育研修	←→													入社時（配属後に真野）
		単独乗務後研修	←→													別途、計画表により実施
		勤続3年未満（若年）運転者研修	←→													別途、計画表により実施
		勤続3年以上（一般）運転者研修				○	○	○				○	○	○	○	
		60歳以上運転者研修				○	○	○				○	○	○		65才以上は真野も受講
		指導運転者研修				○	○	○				○	○	○		
		事故惹起運転者研修	←→													営業所（重大・人身事故は本社でも実施）
		長期欠勤運転者研修	←→													復職時（要診断書・産業医等面談）
		冬期雪上研修（チェーン等）											○	○		実施場所：長浜営業所
		安全運転技能競技会（実技）			○	○	○	○				◎				○：予選 ◎：本選
		道路交通法規研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	新入社員研修時・乗務員研修時実施
		適性・適齢診断受診（カンセリング）	←→													別紙、計画表
		タコグラフチェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	路線：毎月1日、貸切：毎月15日、随時
	ドライブレコーダー指導	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	街頭指導・ターミナル指導・添乗指導等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	貸切バス乗務員	貸切バス選任前研修（座学・実技）				○	○								○	法定座学10時間・実技20時間
		救命救急講習（AED操作研修）				○	○						○	○	○	各営業所にて消防署指導により実施
		冬期雪上研修（チェーン等）										○				実施場所：長野県（志賀高原）
		新入基礎教育研修（バスガイド）	○	○	○	○	○					○	○	○	○	
		乗務員研修（バスガイド）				○	○						○	○		
		安全装置、特殊車両等研修	←→													随時（乗務員研修等で実施）
	事務員	運行管理者基礎・一般講習	←→													別途計画表により受講（毎年受講）
		運行管理者・補助者研修												○	○	年1回実施（必要に応じて随時）
若年事務員研修		○								○					年2回実施（人事異動、新規採用配属時実施）	
事故賠償研修					○										年1回実施（必要に応じて随時）	
共通	緊急・非常時訓練（事務員・乗務員）		○				○					○			計画：5月消防・9月警察・12月バスジャック訓練	
	接遇研修（事務員・乗務員）				○	○	○				○	○	○	○	乗務員研修時、バス協会主催：1月	

9

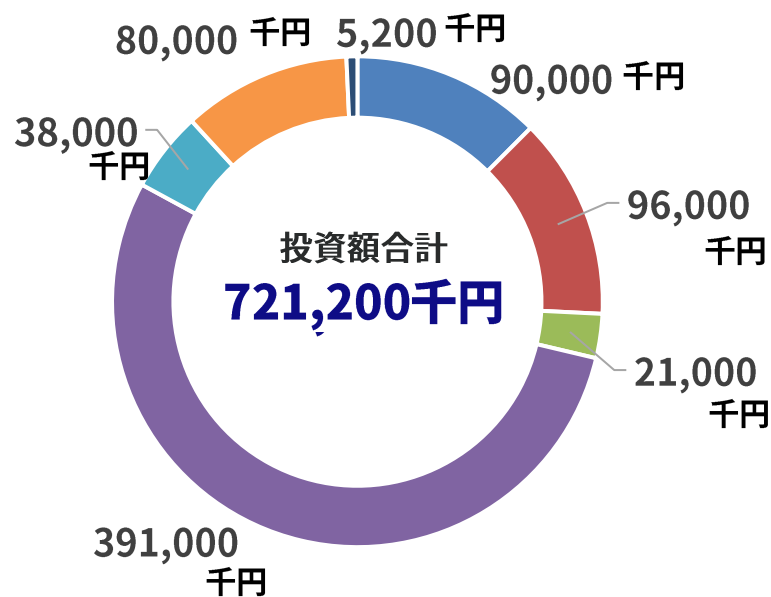
各種対策等	立会点呼（出庫点呼時）	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	安全強化日、交通安全運動期間等
	事故発生時対応													
	発生事故の分析													
	テロ・非常時対策													
	グリーン経営の推進													
	飲酒運転防止対策													
	外部モニター調査													
健康管理	健康診断受診（年2回）					☐	☐					☐	☐	全社一斉
	脳MR I 検査										☐			満34歳、39歳、44歳、49歳、54歳、59歳、64歳時、69歳以上
	SASスクリーニング検査・治療面談													
安全・サ ービス強化期間	S S 管理手帳の活用	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月１日・１５日、特別点呼
	過去重大事故の再発防止啓発													
	歩行者・二輪車への安全強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：１日・１１日・２１日
	自走事故防止強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：２日・１２日・２２日
	交通弱者歩行者への安全確認強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：６日・１６日・２６日
	車内事故防止強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：６日・１６日・２６日
	横断歩道及び交差点での安全運転強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：８日・１８日・２８日
	バック事故防止強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：９日・１９日・２９日
	適性診断活用推進日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月：１日・１５日
	高速道路安全強化日	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	毎月２０日(シートベルト装着啓発)
各種運動等	歯止設置強化月間												☐	
	春・秋の全国交通安全運動	☐					☐							全国一斉
	年末年始輸送等の安全に関する安全総点検									☐	☐			12/10～1/10
	新入(園児)高齢者・夏・年末・交通安全県民運動	☐			☐					☐			☐	県下一斉
	車内事故防止キャンペーン				☐									7/1～7/31
	踏切事故防止キャンペーン								☐					11/1～11/8
	全国火災予防運動								☐				☐	全国一斉
表彰	全国安全週間・全国労働衛生週間				☐			☐						７月安全週間・１０月衛生週間
	営業所無事故表彰													
	個人別無事故料達成表彰													
査察等	内部監査	(別途計画により実施)												
	安全統括管理者巡視	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	㈱西武ホールディングス監査・内部統制部により実施
	交通安全運動に伴う査察	☐					☐							
	年末年始輸送安全総点検査察									☐	☐			
	法定帳票の自主点検													
	特別査察													

10 輸送の安全に関する内部監査結果及び改善措置

2026年3月、監査担当部門である西武HD 倫理・内部統制部により自動車部(管理部門)及び各営業所の内部監査を実施し、特段の指摘事項はなく、適正であることを確認しました。

11 輸送の安全に関する設備投資（2025年度実績）

予算構成

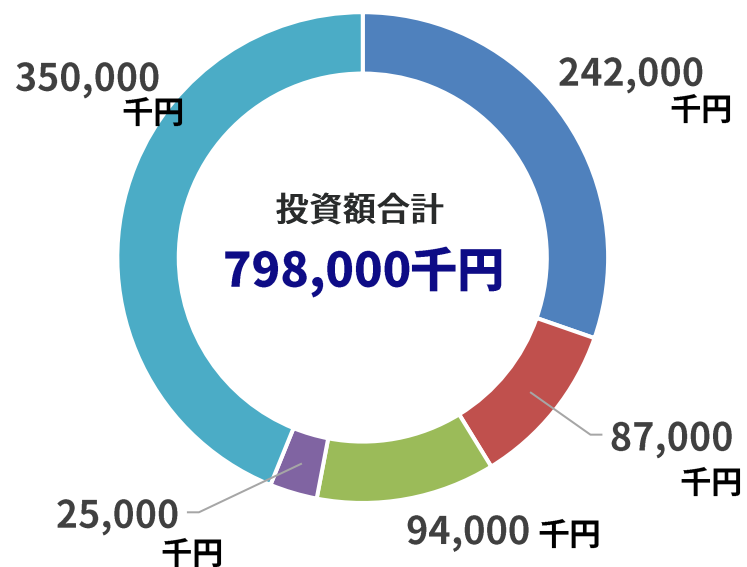


概要

貸切バス新車導入2台	: 90,000千円
乗合バス導入12台	: 96,000千円
コミュニティバス新車導入1台	: 21,000千円
乗合バス新車導入12台	: 391,000千円
ドライブレコーダー更新76台	: 38,000千円
営業所管理、点呼システム導入	: 80,000千円
乗務員保護メガネ	: 5,200千円

11 輸送の安全に関する設備投資（2026年度予定）

予算構成



概要

乗合バス新車導入8台	: 242,000千円
貸切バス新車導入2台	: 87,000千円
コミュニティバス新車導入1台	: 94,000千円
乗合バス導入8台	: 25,000千円
あやめ営業所新社屋建設	: 350,000千円

12 一般貸切旅客自動車運送事業の事業用自動車の運転者、運行管理者、整備管理者に係る情報

運転者に係る情報（2026年3月31日現在）

	状 況
正規雇用運転者数	31名
正規雇用以外運転者数	7名
正規雇用運転者の平均給与月額	バス運転者の平均月額の基準額以上
正規雇用運転者の平均勤続年数	19.0年

※バス運転者の平均月額：近畿運輸局管内の一般貸切旅客自動車運送事業者の平均月額（310,905円）を基準としております。

運行管理者及び整備管理者に係る情報（2026年3月31日現在）

	状 況
運行管理者数	28名
運行管理者のうち他業務（運転者等）兼職者数	3名
運行管理補助者数	13名
運行管理補助者のうち他業務（運転者等）兼職者数	4名
整備管理者数	4名
整備管理者のうち他業務（運転者等）兼職者数	4名
整備管理補助者数	44名
整備管理補助者のうち他業務（運転者等）兼職者数	43名

13 事業用自動車に係る情報

保有車両に関する情報（2026年3月31日現在）

一般乗合	大型	中型	小型	合計
保有車両	121台	12台	15台	148台
一般貸切	大型	中型	小型	合計
保有車両	85台	1台	2台	88台
保有車両最新車齢	1年	17年	17年	—
保有車両最古車齢	29年	17年	17年	—
保有車両平均車齢	14.1年	17.0年	17.0年	14.2年
保有車両の内ドライブレコーダー搭載車両数	85台	1台	2台	88台
保有車両の内デジタル式運行記録計搭載車両	39台	0台	0台	39台
ASV搭載車両	35台	0台	0台	35台
主な運行様態	会員募集ツアー、学校、会社団体 他			
	大型	中型	小型	合計
合計保有車両	206台	13台	17台	236台

14 安全統括管理者

取締役 立川 敬一 （2015年4月1日選任）

15 安全管理規程

当社の安全管理規程は、ホームページ掲載のとおりです。

(<https://www.ohmitetudo.co.jp/bus/guide/file/bus-anzenkanrikitei-ohmi.pdf>)